



自主調査

With コロナ @福岡

福岡の生活者実態調査

2020年07月

株式会社 プリミティブ・ドライブ

問い合わせ先

株式会社プリミティブ・ドライブ リサーチ事業部 (担当：山田・宮本)

TEL：092-735-1077 E-MAIL：info@primitive-drive.co.jp

データ公開

本調査のフルレポートは、株式会社プリミティブ・ドライブのホームページから入手いただけます。

(株式会社プリミティブ・ドライブ ホームページ <http://www.primitive-drive.co.jp>)

調査概要

調査概要 この度のコロナウイルス流行が福岡に暮らす生活者にどのような影響を与えたのか、福岡の“ニューノーマルの兆し”を掴むために調査を実施しました。

調査対象者 福岡県内在住の20歳以上の男女 300 サンプル

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	30	30	30	30	30	150
女性	30	30	30	30	30	150
合計	60	60	60	60	60	300

調査手法 インターネット調査

調査時期 2020年6月12日（金）～14日（日）

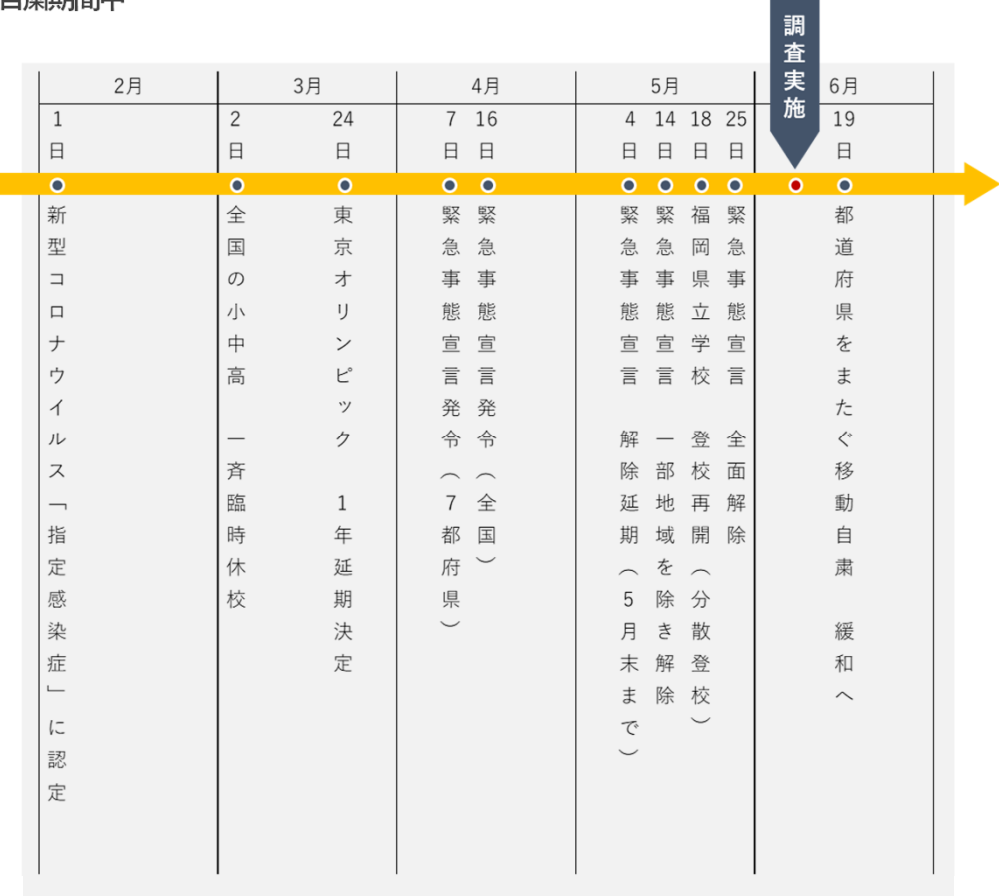
調査実施主体 株式会社プリミティブ・ドライブ
株式会社西鉄エージェンシー 共同調査

本レポートでは調査結果と共に、調査から見えてきた“福岡のニューノーマルの兆し”をまとめております。

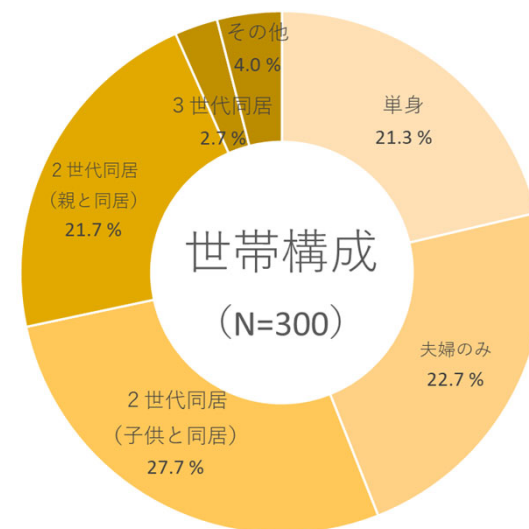
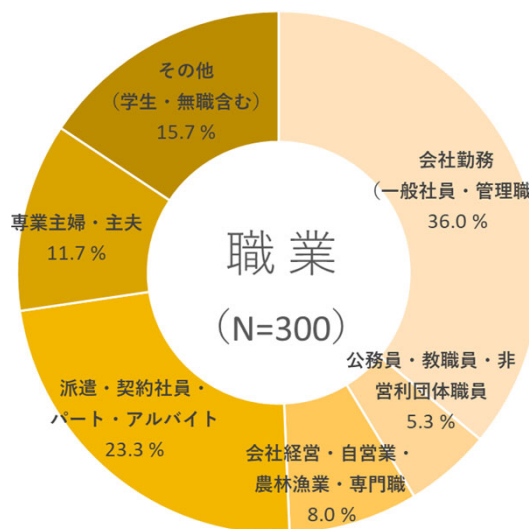
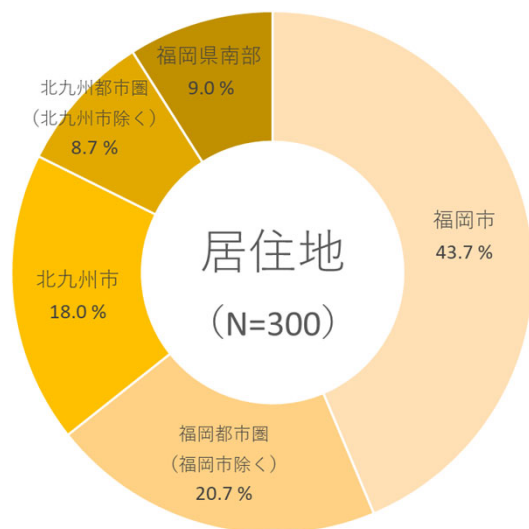
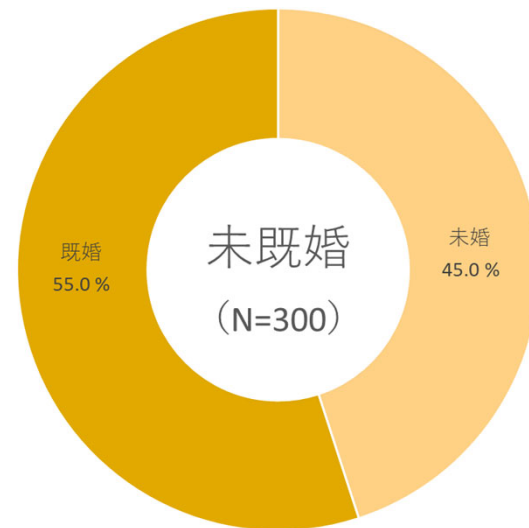
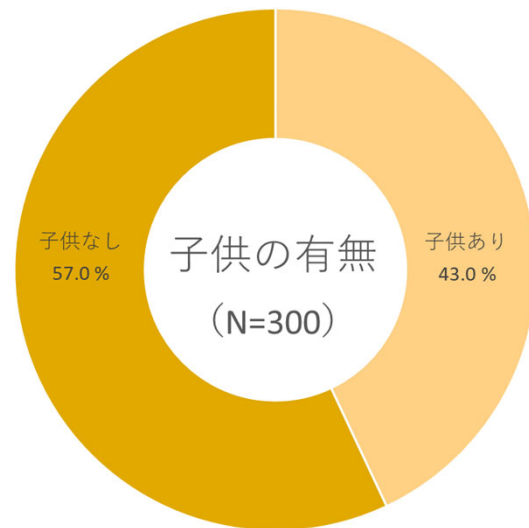
I. 調査概要（補足：実施時期について）

今回の調査を行った時期の福岡の状況は・・・

- ◇ **新型コロナウイルス** 『「指定感染症」認定』から約4か月半
- ◇ **緊急事態宣言** 『解除』から約1か月（『発令』から約2か月）
- ◇ **学校** 『再開』から約1か月（『全国一斉休校』から約3か月）
- ◇ **都道府県をまたぐ移動** 自粛期間中



II. 調査結果【属性】



II. 調査結果【働き方 1/2】

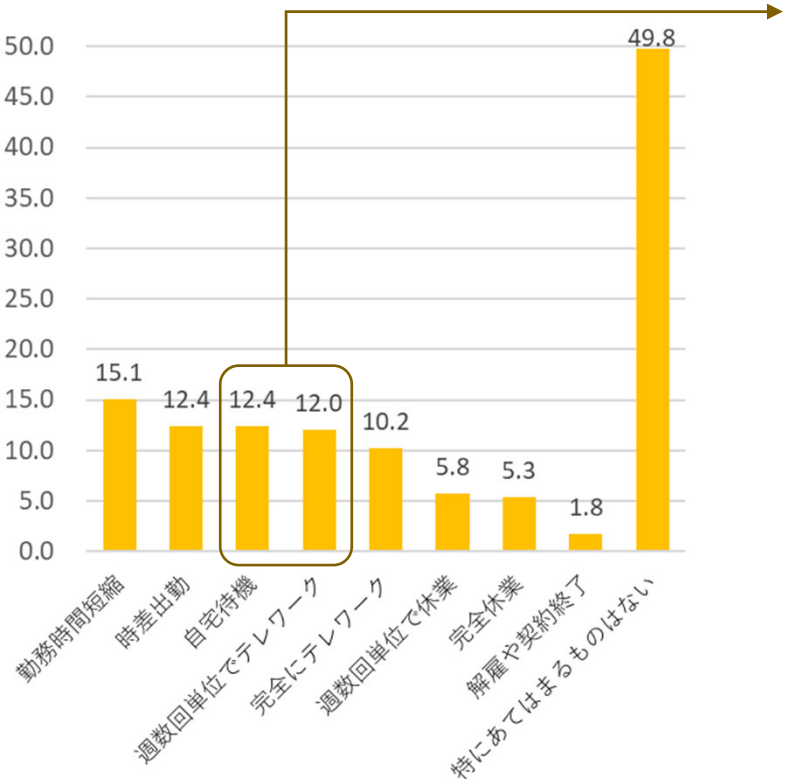
福岡のBeyond コロナ～調査結果からの兆し～

- ◇ 就業者の求める『新しい働き方』≠『テレワーク』
- ◇ 職場と自宅の中継地“サード・スペース”に福岡的就業スタイルあり！
- ◇ 就業スタイルのミックスが【福岡】のニューノーマルか？！

▶ 就業者の **2人に1人** がコロナ禍の影響により **働き方に变化あり**

◆ コロナ禍の影響下で経験した働き方や雇用条件

【GT】 (n=225/現在就業者のみ回答/%) ※1



- ▶ 就業者の **約2割** がテレワークを経験
 - 【利点】 通勤のストレスからの解放/時間の自由度
 - 【課題】 気持ちや時間のメリハリ/コミュニケーション

◆ テレワークのプラス面/マイナス面 ※2 (回答：コロナ禍でテレワークを経験した人)

プラス面	1	通勤時のストレスから解放される
	2	時間配分が自由にできる
	3	仕事以外の自由な時間が増える
マイナス面	1	気持ちの切り替えがしづらく、集中できない
	2	対面で話せないなので、十分なやり取りができない
	3	時間のメリハリがつかず、勤務時間以外も働いてしまう

※1 選択肢中の「テレワーク」=在宅勤務のこと
 ※2 設問「テレワーク（在宅勤務）を経験してどう感じたか」
 19項目のうち、【プラス面】【マイナス面】の平均評定値上位3つ

II. 調査結果【働き方 2/2】

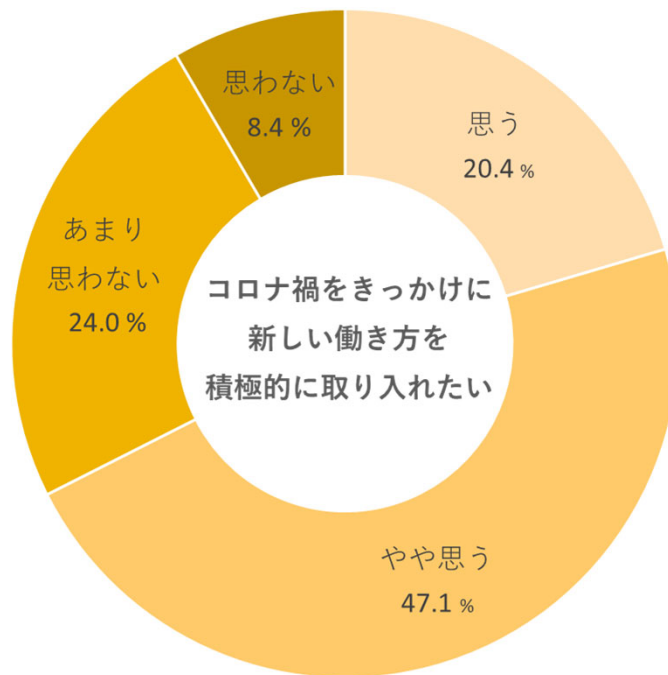
福岡のBeyond コロナ～調査結果からの兆し～

- ◇ 就業者の求める『新しい働き方』≠『テレワーク』
- ◇ 職場と自宅の中継地“サード・スペース”に福岡的就業スタイルあり！
- ◇ 就業スタイルのミックスが【福岡】のニューノーマルか？！

▶ 就業者の **約7割** の人が コロナをきっかけに『新しい働き方』を取り入れたい

◆ コロナ禍後の働き方の意向

【GT】 (n=225/現在就業者のみ回答/%)

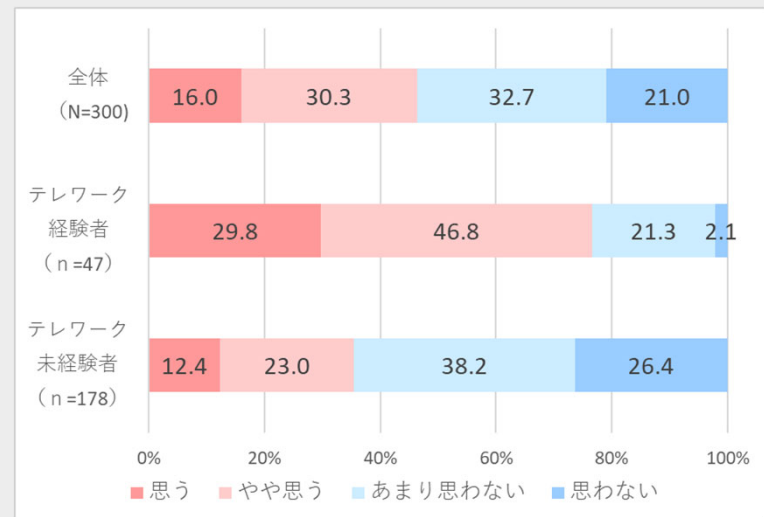


▶ テレワーク意向 経験有無により4割の差

【テレワーク 経験者】 思う計 76.6%

【テレワーク未経験者】 思う計 35.4% ※3

◆ 今後、テレワークで働きたいと思うか



※3 思う計とは、「思う」「やや思う」の合計

II. 調査結果【都市（天神）と移動 1 / 2】

福岡のBeyond コロナ～調査結果からの兆し～

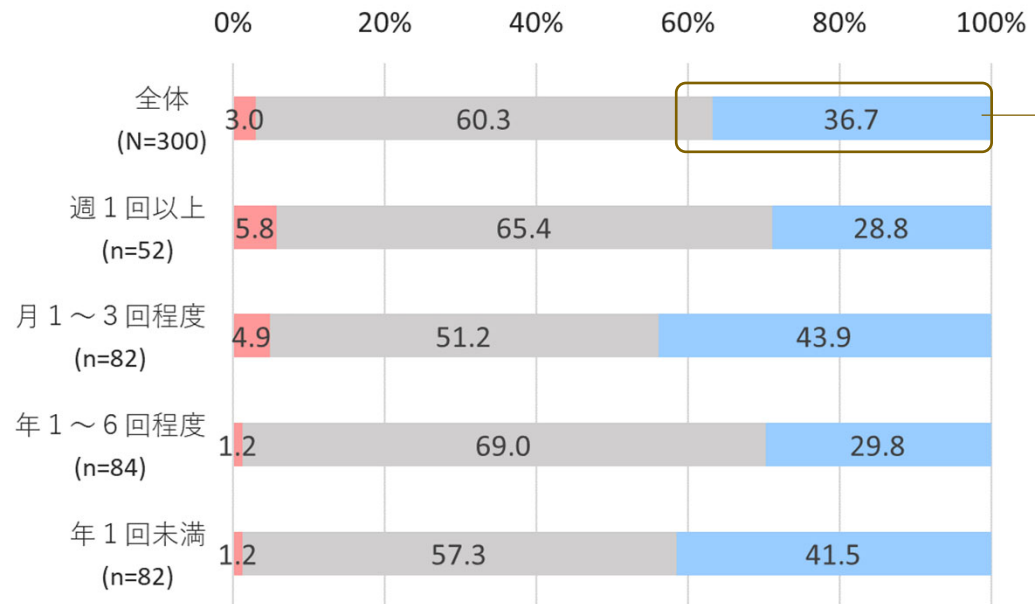
- ◇ビックバンだけ？これからの「まち」の魅力は？ 「まち」への愛着は？
- ◇60代以上の女性はどこへ行く？新たなアプローチ方法を！
- ◇移動のキーワード『パーソナル』と『オープン』！公共交通のニューノーマルとは？

▶ 今後の天神エリアへの来訪意向 **4割弱の人** がコロナ前より『行く回数を減らしたい』

◆コロナ禍以降の天神エリアへの訪問頻度はどうなると思うか

【GT】 (N=300/%)

コロナ前
天神来訪頻度

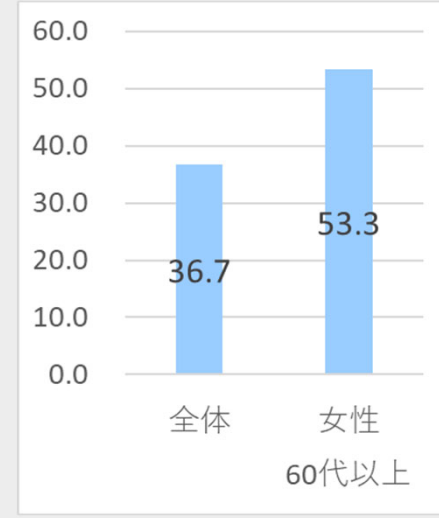


- コロナ禍以前より、天神エリアへ行く回数を増やしたい
- コロナ禍以前も今後も、天神エリアへ行く回数は変わらない
- コロナ禍以前より、天神エリアへ行く回数を減らしたい

▶ 女性60代以上 来訪意向 **DOWN**

性年代別 天神エリアへの来訪意向は女性60代の意向減傾向が顕著に表れた

◆ 行く回数を減らしたい (全体 N=300/女性60代以上 n=30/%)



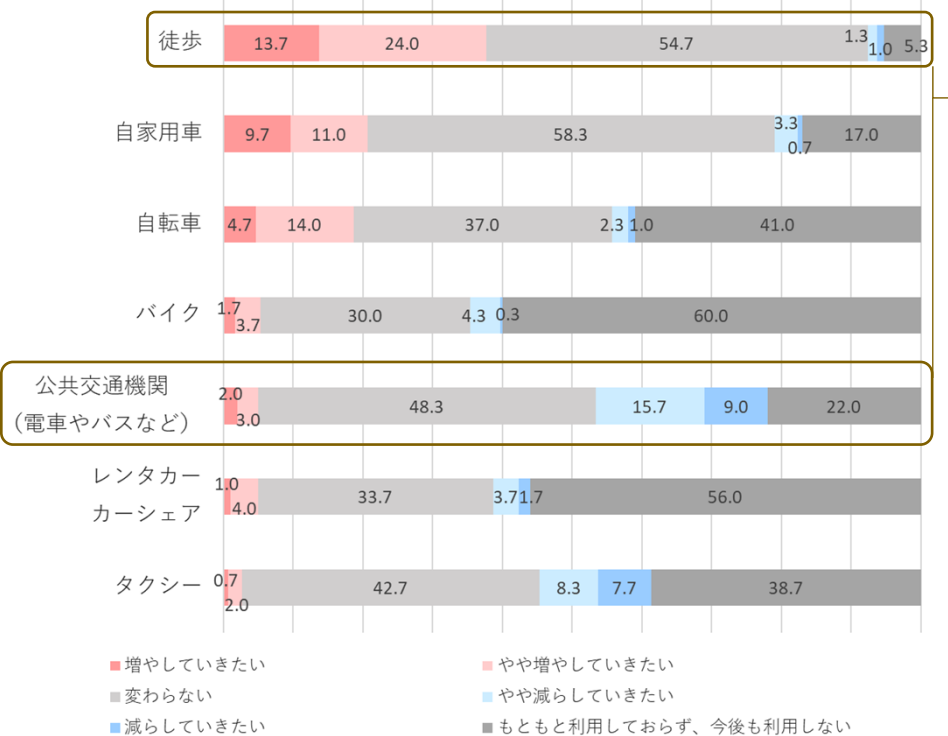
II. 調査結果【都市（天神）と移動 2 / 2】

福岡のBeyond コロナ～調査結果からの兆し～

- ◇ビックバンだけ？これからの「まち」の魅力は？ 「まち」への愛着は？
- ◇60代以上の女性はどこへ行く？新たなアプローチ方法を！
- ◇移動のキーワード『パーソナル』と『オープン』！公共交通のニューノーマルとは？

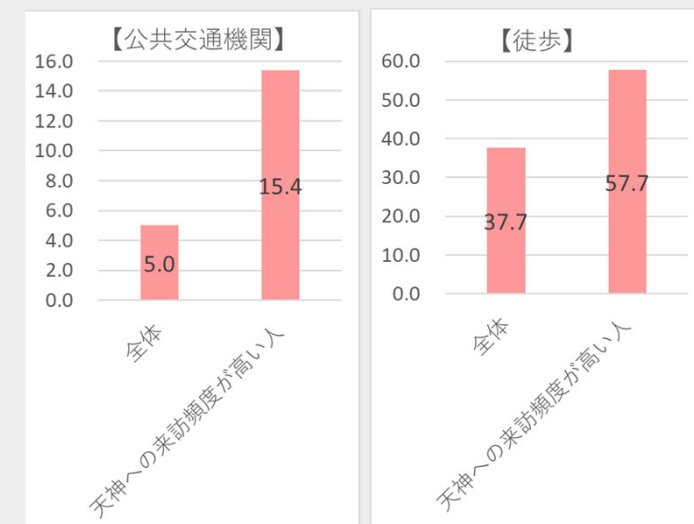
▶ コロナ禍以降の移動手段 利用意向 **UP↑ 『徒歩』** **DOWN↓ 『公共交通機関』**

◆これからの移動手段の意向 【GT】 (N=300/%)



▶天神への来訪頻度が高い人 公共交通利用抵抗感少／徒歩意向増
 【公共交通機関】全体より 10.5ポイント高
 【徒歩】全体より 20.0ポイント高

◆ コロナ禍以前よりも利用を増やしたい ※10 (全体 N=300/天神への来訪頻度が高い人 n=52 /%)



※10 『天神来訪頻度が高い人』とは、コロナ禍以前の天神来訪頻度が週1回以上の人

フルレポートのご案内

本調査では、他にも以下のような項目について聴取しています。

<その他、項目>

- ▶ **【余暇】** これからの余暇の過ごし方の意向は？
 - ・余暇の過ごし方<イエソト> 4人に1人がコロナ前より『国内旅行』の意向UP
 - ・余暇の過ごし方<イエナカ> コロナ禍による 新規利用者増1位は『家の中での運動』

- ▶ **【意識や行動】** コロナ禍前と比べた意向の変化は？
 - ・コロナ禍後の新たな意向
 - 1位『備蓄の強化』 2位『納得する働き方』 3位『持続可能な社会のための行動』

ご興味がおありの方はぜひ

[弊社WEBサイトよりご請求ください>>](#)

問い合わせ先

株式会社プリミティブ・ドライブ リサーチ事業部 (担当：山田・宮本)

TEL：092-735-1077

E-MAIL：info@primitive-drive.co.jp

データ公開

本調査のフルレポートは、株式会社プリミティブ・ドライブのホームページから入手いただけます。

(株式会社プリミティブ・ドライブ ホームページ <https://www.primitive-drive.co.jp>)

